

2017-B

Ⅲ 43B

拠出金・基金
の名称

国連訓練調査研究所拠出金

種 別

☐ イヤマークのみ ☒ 一部イヤマーク

【拠出先の国際機関名】国連訓練調査研究所 (UNITAR)

【所管官庁担当局課・室名】外務省国際協力局地球規模課題総括課

【当該任意拠出金の目的・用途等】

UNITARは主に途上国の政府職員の訓練・研修を通じて開発途上国の地球規模の課題を解決することを目的としており、SDGsの実施を最大の目標に掲げ、SDGsの重要分野に沿って、様々な地球規模課題の政策決定に係る企画・立案能力の向上や組織管理のノウハウ等に関する訓練、研修事業等を実施し、途上国等の行政官等の能力向上、人材育成に貢献している。毎年約500の研修、ワークショップ、eラーニングコースを実施している。

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成29年度	166,747	1,516		1米ドル=110円	100
平成28年度	157,748	1,315		1米ドル=120円	100
平成27年度	116,714	1,061		1米ドル=110円	100

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

2017年にUNITARは合計497件の事業を実施しており、前年の456件よりも約9%増となったほか、研修の受講者は過去最高の56,210人であり、前年比2.5%増となった。また、UNITAR広島事務所では、2017年に167人の研修員を受け入れて研修を実施した。更に、我が国が拠出した各種研修(イヤマーク)において、計100名に対する研修を実施した(内訳:①「津波防災に関する女性のリーダーシップ研修」(インド洋及び太平洋島嶼国計17カ国から女性の政府・市民社会職員の計33名)、②「イラク青年層に向けた起業家育成とリーダーシップ研修」(イラクの政府・中小企業・学術機関・市民社会の若手職員計25名)、③「南スーダン青年層に向けた起業家育成とリーダーシップ研修」(南スーダンの政府・商工会議所・学術機関・市民社会の若手職員計24名)、④「サヘル諸国に対する汚職対策研修」(サヘル地域の7カ国から政府・地域機関・市民社会の計18名))。上記①については、2015年12月の第70回国連総会における「世界津波の日」の決議の採択を踏まえ、特に女性に焦点を当てて、災害時の女性の役割やリーダーシップ向上を図り、仙台防災枠組や仙台防災イニシアティブのフォローアップを進めているもの。

【備考】